



デザイン科

～デザインの授業って、どんな勉強をするのかな？～

design art デザインと美術は、何が違うの？

どちらもデッサンをしたり、色を塗ったり、粘土で立体を作ったり、美しさを求めたりすることを学びます。
いったい、何が違うのでしょうか。

答え

design ⇨ 他人のなかにある答えを見つけて、目に見えるかたちにして外に出す作業。

産業の一部。

art ⇨ 自分のなかにある答えを追及して、目に見えるかたちにして外に出す作業。

自己表現の一部。

デザインの仕事 他人のなかにある答えを見つけて、目に見えるかたちにして外に出す作業とは



クライアント(依頼主)

クライアントは個人や企業などさまざまな形態があります。



デザイナー

デザイナーはクライアントとの話し合いや商品や、店舗の観察を通して、クライアントの商品への想いや店舗の歴史、将来の方向性などのクライアントのなかにあるイメージを読み取ります。



話し合いや観察から得たイメージを手掛かりとして、ポスターなどの図案にしてクライアントのイメージを目に見えるかたちにして製品にしていきます。クライアントと確認を重ね納得のいくまで、作業をします。

また、制作に必要なスタッフを集め、連携して作業をすることもあります。



完成したポスターやホームページをクライアントに納品します。また、それを管理したり、さらなる販売促進活動を行うこともデザイナーの仕事です。

イラスト：デザイン科生徒

体験授業・学校説明会スケジュール

7.9 (Sat)

TECH LAB (実技体験)

会場：本校
デッサンまたはその他実習体験

7.23 (Sat)

学校説明会

会場：本校
説明会・作品展示・個別相談

8.2 (Tue)

TECH LAB summer special
(中学生1日体験教室)

会場：本校
デッサン

9.10 (Sat)

学校説明会

会場：本校
説明会・作品展示・個別相談

9.17 (Sat)

TECH LAB (実技体験)

会場：本校
デッサンまたはその他実習体験

10.8 (Sat)

TECH LAB (実技体験)

会場：本校
デッサンまたはその他実習体験

11.19 (Sat)

学校説明会

会場：本校
説明会・作品展示・個別相談

12.17 (Sat) ~ 18 (Sun)

卒業制作展

会場：かなつくホール (予定)
3年生の卒業制作を展示します
17日は学校説明会も開催

※新型コロナウイルス感染対策などによりスケジュールや内容を変更、中止することがあります。

最新の情報や詳細、申し込み方法は本校のホームページをご覧ください。

個別の学校見学も受け付けております。045(491)9145 (デザイン科直通) までお電話ください。

令和5年度入学生デザイン科教育課程の特徴

目標に向かって選択できる

- ・選択科目を2年生で週2時間（化学基礎）、3年生で週8時間（共通科目・専門科目）設定しています。
- ・3年生の実習という授業では、自分の適性や進路を見据えて平面系デザイン（ビジュアルデザイン）または立体系デザイン（プロダクトデザイン・スペースデザイン）を選択し学習・作品制作をすることができます（中面参照）。

進学・就職に必要なデッサンは3年間継続学習

- ・デッサンを継続して学ぶことで基礎から応用までの表示技法を身につけ、授業・作品制作に生かすことはもちろん、進学・就職時の実技試験に備えます。

英語も3年間継続学習 大学入試改革や企業における英語活用の増加に備える

- ・今まで以上に英語の語学力向上が求められる社会に対応するため、英語を3年間必修科目として学習します。また選択科目にも英語の科目を設け、より実践的な学習もできます。
- ・1年生は、外部講師による進学対策授業も受講することができます。



学習内容・学習環境の特徴

手で覚え、手で表現する

現代は情報化社会でありパソコンなどが発達し普及したため、それを使用してイラストを描いたり、もののかたちや色を決めたり、情報を発信したりすることが容易にできるようになりました。しかし、どんなにパソコンやAIが発達しても優れた製品や広告は、必ず人の眼や手で確かめ、修正し最終的な決定をします。つまり、最後は人間の感性が大切だということです。

本校デザイン科では、美しい線や面、ものの配置、色の違いなどの造形感覚を育てるために手作業で作品制作することに重点をおいています。そして、基礎的な造形力と表示力を基盤としてデザインに応用できる表現力を高めています。



手作業で培われた感覚は、パソコンや高度な加工機械を使う場合でも基盤となるものです。

じっくり取り組める環境

ホームルーム教室の学習機のほかに、作品制作をする実習室にも生徒一人ひとりに専用の実習机を用意しています。授業中はもちろん放課後にも集中して作品制作に取り組むことができる大学の研究室のような環境を整えています。また、全教室に冷暖房を完備しています。

作業がともなう授業は「少人数編成」と「チームティーチング」で行い、生徒一人ひとりのモチベーションを高め、技術の定着を図ります。

3年後、7年後の就職を見据えた力を今から育てます

作品制作では、教員とのディスカッションを行い、企画と計画を立て、ねらいや作業工程を明確にしてから制作を始めます。また、作品のプレゼンテーションや作業内容をまとめる記録を授業に取り入れ、将来の就職のための言語能力やコミュニケーション能力を養います。

近年のコンクール入賞歴

IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール

第13回	4コマ漫画部門	優秀賞
第16回	4コマ漫画部門	優秀賞
第17回	ポスター部門	優秀賞

令和元年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

文部科学大臣・総務大臣賞

令和3年度山火事予防用ポスター 日本森林林業振興会会長賞

令和4年用 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

国土緑化推進機構理事長賞

神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験

採用案内の表紙とポスター 令和3年度原画採用

平成30～令和2年度デザインパテントコンテスト

優秀賞8件



令和3年度
神奈川県公立学校教員採用候補者
選考試験採用案内ポスター

近年の取得資格実績

色彩検定 2級 3級

グラフィックデザイン検定 2級 3級

基礎製図検定

特許庁意匠権登録

ジュニアマイスター ゴールド・シルバー

活躍する卒業生よりメッセージ



3年間、神奈川工業高校でデザインを学び、それまでは曖昧だった「こんな仕事につければいいな」という思いを、より具体的なものにすることができました。在学中に得た技術や知識ももちろんですが、何より、ものづくりに対する忍耐力や心構え、そしてやりきったときの達成感を知ることができました。このことは、今の仕事に活きていると感じています。

神奈川工業高校は、自分次第でより多くの資格、知識、経験、チャンスをつかみとれる場所です。私はこの高校で学べたことを誇りに思います。

平林亜斐さん（平成29年度卒業生） 株式会社帆風

近年の主な進路先

（内定および合格を含む）

大学

東京藝術大学 絵画科日本画専攻（過年度卒業生）
金沢美術工芸大学 デザイン科視覚デザイン
信州大学 図画工作・美術教育コース
多摩美術大学 グラフィックデザイン学科
多摩美術大学 情報デザイン学科
多摩美術大学 統合デザイン学科
多摩美術大学 絵画学科版画専攻
武蔵野美術大学 油画学科油絵専攻
女子美術大学 デザイン・工芸学科
東京造形大学 デザイン学科
東海大学 芸術学部
芝浦工業大学 デザイン工学部
千葉工業大学 建築学科
横浜美術大学 美術学部美術学科
関東学院大学 人間環境デザイン科
拓殖大学 デザイン科
東京工芸大学 デザイン学科
東京工科大学 デザイン学部 デザイン学科

専門学校等

神奈川県立産業技術短期大学校
桑沢デザイン研究所 総合デザイン学科
東洋美術学校 クリエイティブデザイン科
日本工学院専門学校 グラフィックデザイン科
文化服装学院 ファッション工学科
東放学園専門学校 テレビ美術科
専門学校中央工学校 建築室内設計科

企業

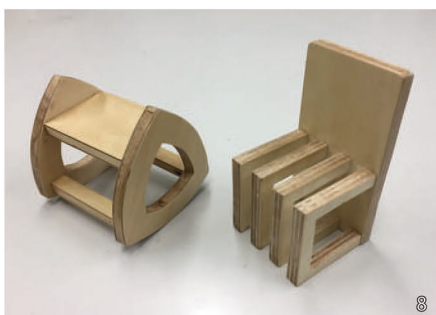
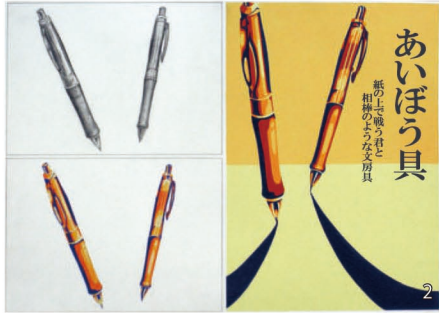
株式会社ライトパブリシティ
株式会社シバックス
株式会社DNPテクノパック横浜
株式会社ダイワ・エム・ティ
株式会社帆風
二和印刷株式会社
株式会社シミズオクト
株式会社日本色材工業研究所
パナソニック建設エンジニアリング株式会社



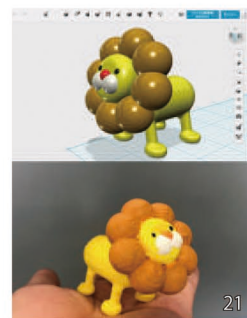
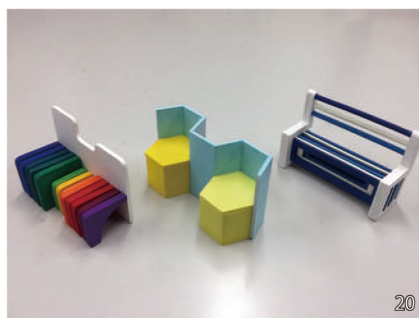
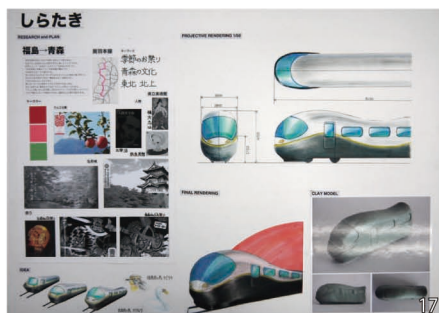
神奈川工業高校デザイン科に入学して、デザインの基礎を学ぶことはもちろん、親身になってくれる先生方のおかげで、人間としても成長することができたと思っています。入学して出会った人たちにたくさんの刺激を受け、デザインを通して大切なことを学びました。課題提出日を守る、周りをよく観察する、人の意見やアドバイスを聞く、自分の考えていることを相手に伝える、これらは当たり前なことですがとても大切なことです。学んだことを活かして、大学入試では自分の思う通りのプレゼンテーションを行うことができました。神奈川工業高校は、自分の可能性を広げることが出来る場所です。

伊藤幸乃さん（令和元年度卒業生） 多摩美術大学統合デザイン学科

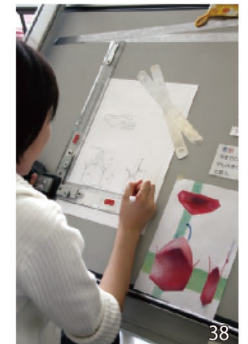
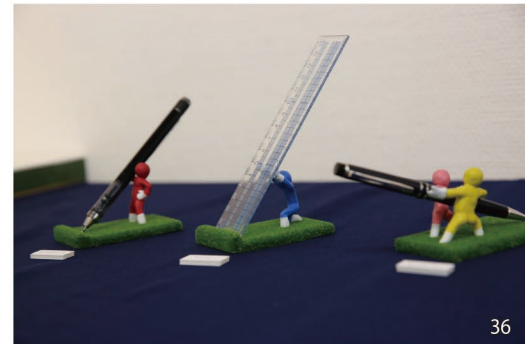
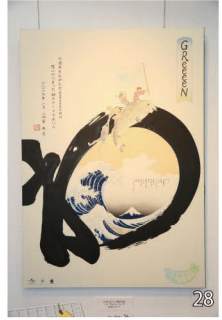
1年生 デザイン及び造形の基礎を学ぶ



2年生 デザインの3領域（ビジュアル・プロダクト・スペース）を学ぶ



3年生 進路や適性にあわせて領域（ビジュアルデザイン 25～34 またはプロダクトデザイン・スペースデザイン 35～41）を選択して、深めて学ぶ



卒業制作展

3年間の学習の集大成として、ポスターやプロダクト製品等の提案を校外展示し、在校生や保護者、地域の方に評価していただきます。また、校内で提案についてのプレゼンテーションを行います。

平成31年1月25日に卒業制作展の取組が tvk (テレビ神奈川) の「NEWSハーバー」で放送されました。この内容は、学校説明会等でご覧いただけます。

